

平成20年度元気な地域づくり交付金の事後評価結果について

(沖縄総合事務局)

都道府県	市町村	計画主体	事業実施主体	計画名	事業メニュー名	事業内容	計画期間	目標 (成果指標)	達成率(%)	評価結果			備 考
										計画主体	沖縄県	沖縄総合事務局	
沖縄県	名護市	名護市	名護市	名護第5地区	基盤整備促進	農道(耐震補強工事) L=100m 3橋	H17～19	①農業用排水施設等の整備・保全により条件整備され機能が確保された農地の増加面積(15ha)	①15ha 100.0%	本事業により、農道橋の耐震補強(農業用排水施設等)の整備がなされ、災害時の被害を最小限に抑え、安全な農道が確保された。	本事業により、農業生産の維持及び農業経営の安定を確保するための安全な農道が整備された。	災害時の被害を最小限に抑え、農業生産の維持及び農業経営の安定を確保するため、沖縄自動車道に架かる農道橋の耐震補強がなされ、農業用施設(農道)としての機能と緊急輸送道路としての機能が確保された。	
沖縄県	金武町	金武町	金武町	金武第1地区	基盤整備促進	農道(耐震補強工事) L=93m 3橋	H17～19	①農業用排水施設等の整備・保全により条件整備され機能が確保された農地の増加面積(42.7ha)	②42.7ha 100.0%	本事業により、農道橋の耐震補強(農業用排水施設等)の整備がなされ、災害時の被害を最小限に抑え、安全な農道が確保された。	本事業により、農業生産の維持及び農業経営の安定を確保するための安全な農道が整備された。	災害時の被害を最小限に抑え、農業生産の維持及び農業経営の安定を確保するため、沖縄自動車道に架かる農道橋の耐震補強がなされ、農業用施設(農道)としての機能と緊急輸送道路としての機能が確保された。	
沖縄県	うるま市	うるま市	うるま市	石川第9地区 上原第5地区 勝連第9地区	基盤整備促進	農道(舗装) L=815m L=996m L=946m	H17～19	①農業用排水施設等の整備・保全により条件整備され機能が確保された農地の増加面積(8.6ha,14.6ha,6.3ha)	①8.6ha 100.0% ①14.6ha 100.0% ①6.3ha 100.0%	本事業により、農産物の荷傷や粉塵被害の防止、農村環境改善、農業生産向上を図ると共に、維持管理の経費節減のための農道のアスファルト舗装がなされた。	本事業により、農産物の荷傷防止、粉塵被害の軽減及び維持管理費の節減のための農道のアスファルト舗装が整備された。	農産物の荷傷防止、粉塵被害の軽減及び維持管理費の節減のため、農道のアスファルト舗装が計画どおり整備された。	
沖縄県	西原町	西原町	西原町	西原町全域地区	地域連携システムの整備	・ワークショップの開催 ・体験の開催 ・西原キッズ農園の設置 ・カレブプロジェクト、大豆プロジェクトの開催 ・食育フォーラム、食育スキルの開催 ・イベント等による特産品の販売等	H17～19	①都市農山漁村交流施設等における滞在者数(宿泊者数を除く)の加率(40.6%) ②体験型グリーン・ツーリズムの増加(50人) ③地域連携のためのワークショップの催(3回) ④農業体験の開催(2回) ⑤学校現場における農業と食育の取り組み時間数の増加(8時間) ⑥新たな特産品の開発(1品)	①63.1% 155.42% ②0人 0% ③5回 166.67% ④2回 100% ⑤6時間 75.00% ⑥3品 300.00%	農業体験を通した食育の推進を図ることにより、充実した食農教育が実施できたと同時に、体験事業の遂行にあたり地域内の各種団体の協力体制を築くことで、団体間の連携を強化できた。今後も活動が継続発展できるよう努める。	本事業により農業体験、食育を通して農業への理解が深まったものと思われる。また、農園設置など市街地近郊農業の新たな展開が推進されているものと評価できる。今後も活動が継続発展できるよう指導支援する。	当地区では、必須指標及び地域指標の8つのうち4つは目標を達成しており、農業と食育の連携を通した特色あるまちづくり等の目標は概ね達成していると判断する。しかし一部の指標が未達成なため、現在、改善計画に基づき指導を行っている。	
沖縄県	読谷村	読谷村	長浜川土地改良区	読谷第7地区	基盤整備促進	農道(舗装) L=2,179m	H17～19	①農業用排水施設等の整備・保全により条件整備され機能が確保された農地の増加面積(16.5ha)	①16.5ha 100.0%	農産物の運搬に伴う荷痛防止及び農作物の粉塵被害の軽減を図ると共に、既設路盤材流出による排水路のつまりがなくなり圃場の土を流さくするための農道のアスファルト舗装が整備された。	本事業により、農産物の荷傷防止、粉塵被害の軽減及び維持管理費の節減のための農道のアスファルト舗装が整備された。	農産物の荷傷防止、粉塵被害の軽減及び維持管理費の節減のため、農道のアスファルト舗装が計画どおり整備された。	
沖縄県	宮古島市	宮古島市	宮古地区農村振興実施計画推進協議会	宮古地区	農村振興支援	ワークショップ等による普及啓発、広報活動、研修会の開催等	H17～19	①事業を契機として、地域住民、地域団体等により実施される地域活動数(5回)	①5回 100.0%	研修会や講演会などの地域活動が実施され、多くの住民が参加した。また、リーダー的人材も育成されたことで推進体制が強化され、今後、環境保全型農業(緩効性肥料の推進等)や地域資源循環利用、体験滞在型観光プログラムの構築等への推進が期待される。	本事業により、地域活動への意識高揚を目的とした講演会に多くの住民の参加があった。目標の達成に向け今後の活動に期待ができる。	地下水の保全、農業と観光の連携、地域資源循環社会の構築等について、普及啓発、広報活動を実施し、地域住民の意識の高揚につながった。これにより、緩効性肥料の利用推進およびエコアイランド宮古島宣言(H20.3)やバイオマスタウン構想策定(H19.3公表)にも寄与しており成果が現れている。	